

北3階病棟

北3階病棟は平成27年4月1日より産婦人科・女性共用病棟として新しくスタート致しました。

病棟は淡いピンクを基調とした温かみのある空間となっており、一人一人の病状や必要な支援に合わせ、ゆったりと寄り添える看護を目指しています。また、退院後の生活が患者さまらしく生活できるよう、早期から退院支援を行っております。



新生児室

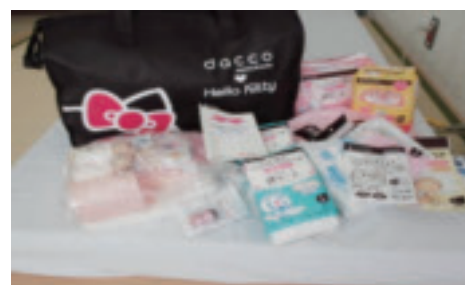
出産は女性や家族にとって特別な機会です。外来通院時からバースプランを聞かせていただき、希望が実現できるよう支援させていただきます。そして、特別な時間となる出産を出来るだけリラックスして過ごしていただくため、分娩がはじまり終了するまで同じ部屋でご家族と共に過ごして頂けるLDR室（陣痛分娩室Labor Delivery Recoveryの略）を設けています。



LDR室

家庭的な雰囲気でご過ごせるようトイレやシャワー室、畳も用意しています。また、産後のアメニティグッズも充実しており、入院持参物品はほとんどありません。

出産直後のお写真と可愛い赤ちゃんの足形を記念のアルバムにしてお渡ししております。患者さまひとりひとりが満足して入院生活を過ごして頂けるようスタッフ一同精一杯お手伝いさせていただきます。



アメニティグッズ



アルバム

薬剂部

知っていますか？赤ちゃんとビタミンK

出血を止めるために必要な「ビタミンK」は、大人では腸内細菌によって作られます。

しかし、生まれてすぐの赤ちゃんには十分な量の腸内細菌がないため、「ビタミンK」が不足しやすくなります。

ケイツーシロップは「ビタミンK」を補給し、赤ちゃんに起こりやすい出血症を防ぐおクスリです。

ケイツーシロップの飲ませ方

ご自宅での飲ませ方

<スプーンで飲ませる場合>

スプーンに原液シロップを少しずつ取り分けて、赤ちゃんの口に流し込んでください。
ほほの内側に垂らす様に流し込むとよいです。



<哺乳びんの乳首で飲ませる場合>

哺乳びんの乳首だけを赤ちゃんにくわえさせて、原液シロップを少しずつ流し込んでください。



<哺乳びんで飲ませる場合>

ミルクが湯冷まし、または母乳にシロップを混ぜて飲ませてください。
量は赤ちゃんが飲みきれの程度(10mL以下)に調整してください。

混ぜても良いもの

- ・湯冷まし
- ・母乳
- ・ミルク



10mL以下で赤ちゃんが飲みきれの量に調整してください。

飲ませ方の注意

- ・使用直前に開封し、1回で使いきってください。
- ・他のお薬と混ぜないでください。
- ・目、鼻、耳に入らないように注意してください。



- こんなときは…
- お薬を吐いたり、飲み残したとき
 - お薬がこぼれてしまったとき

半分以下しか飲んでいないと思われるときは、次回の分を飲ませてください。

次回の分をお持ちでない場合や、追加の使用で足りなくなった分に関しましては、主治医にご相談ください。



必ず哺乳びんやスプーンなどに移して飲ませてください。スティックのまま飲ませると、赤ちゃんのくちびるを傷けたり、まちがって気道に入るおそれがあります。

飲ませる時期や量は主治医にお確かめください。

ケイツーシロップについてご不明な点は当院薬剂部へご相談ください。

引用:エーザイパンフレット「知っていますか?赤ちゃんへのビタミンK投与」 監修・作成 聖路加看護大学 片岡弥恵子、杉岡寛子 産業医科大学 白幡「ケイツーシロップの飲ませ方」 監修 東京女子医科大学 母子総合医療センター 楠田 聡